

キャンプ砂防2024 in多治見

～災害「長野県梨子沢」「御嶽山」における砂防事業の実体験と木曾・東美濃の歴史と文化～



御嶽山崩壊地

実施概要

(目的)

砂防を専攻する大学生等に地域の活性化に向けた種々の取り組みを実際に体験できる場を提供し、砂防に対する学習意欲の喚起、土砂災害防止意識の向上を図るとともに、国交省のみならず自治体、建設関連業等多様な立場への職業意識を形成すること。

(期間)

令和6年8月5日(月)～令和6年8月9日(金)

(参加人数)

大学生2名、大学院生1名

(箇所)

庄内川流域砂防 → 岐阜県多治見市、土岐市

木曾川流域砂防 → 岐阜県中津川市、長野県南木曾町、大桑村、上松町

御嶽山崩壊地 → 長野県王滝村

(実施内容)

◇砂防施設見学 → 浦山第2砂防堰堤(登録有形文化財)、雲五川床固工群、浦川第2砂防堰堤、四ツ目川遊砂工 等

◇崩壊地等調査 → 御嶽山崩壊地、自然湖

◇地域文化見学等 → 天白公園(蛇抜けの碑、桃介橋)、妻籠宿、馬籠宿、多治見市モザイクタイルミュージアム





開講式

1日目



砂防講座



浦山第2砂防堰堤
(有形登録文化財)



御嶽山崩壊地調査

3日目



浦川第2砂防堰堤



長野県北部地震慰霊碑

2日目



天白公園(桃介橋)



自然湖(王滝村)



四ツ目川遊砂工

4日目



ドローン操縦体験



(参加学生の声)

- ・今まで砂防について学んできたことを実際に見ることで理解を深めることができた。
- ・崩壊地や自然湖は写真で見ると雄大で美しい景色だったのと同時に災害の恐ろしさを感じた。
- ・砂防施設の整備は、環境にも配慮して行われていることが分かり、好感が持てた。
- ・地域を想って行われている砂防事業の仕事にやりがいを感じた。
- ・砂防だけでなく保全対象施設の見学もカリキュラムに組み込まれていて、この地域の魅力に触れることができた。
- ・現場では専門的な話を聞くことができ、他の行程でも常に職員の方に質問しながら見学することができ、とても満足している。



研修報告会

5日目



閉講式